

衛星画像とAIを活用した森林資源調査

人工林の適切な管理と
広葉樹の有効利用のため、
侵入木見える化が課題



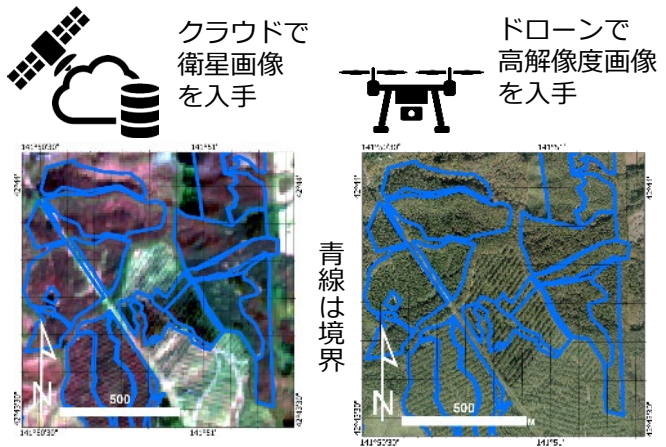
針葉樹人工林へ侵入した広葉樹

背景

森林資源情報の高精度化のため、リモートセンシングによる資源把握技術のAIによる高度化が求められている。

成果

- 1 画像データ整備の効率化
- 2 林相タイプ判別AIの開発
- 3 広域で高精度な判別

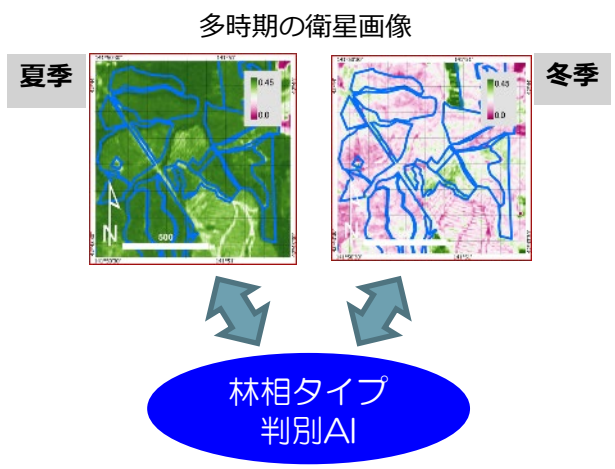


クラウドやドローンを活用し分析に使う衛星画像や教師データを効率的に整備

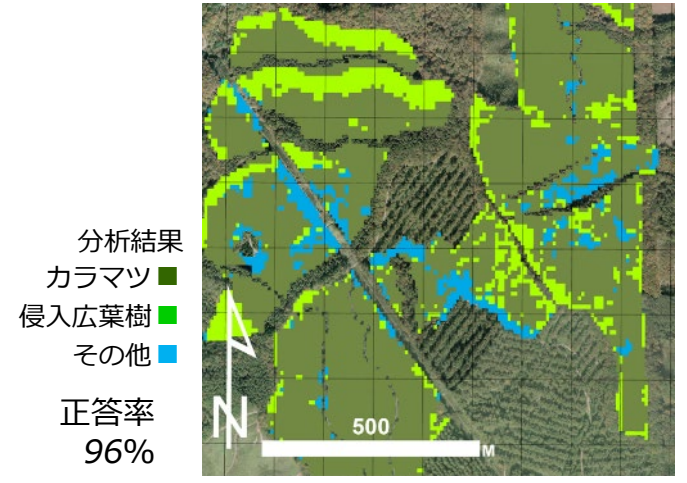
期待される効果

低コストで広範囲の人工林資源の現況把握が可能になり森林資源調査のスマート化に貢献。

(協力機関：当別町、三菱マテリアル(株)、北海道水産林務部道有林課・森林計画課)



多時期の衛星画像利用が侵入広葉樹の判別に有効



高精度で侵入広葉樹の判別可能